

2025/4/15, 16, 22, 23

「自己創造のための教育体験活動」 説明会

自己創造のための教育体験活動 A, B, C

<概要>

3年次の教育実習に参加する前に、自らが求めて学校現場等である一定期間体験活動を行うことを通して、教職や教育支援職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりする。参加にあたっては、ねらいを明確にした計画書を作成する。また、体験活動では教師や子どもの現実に触れる過程での気づきや考え、自己の成長を記録する。まとめとして学生間の情報共有や議論の場を設ける。こういったプロセスを通して、教職や教育支援職を目指す上での自己のアイデンティティを形成するとともに、自ら学び、成長し続ける意義について理解する。さらに、ここで得た学びを基盤として、教育創成科目を選択して課題解決を図ったり、課題を明確化して教育実習に臨んだりする。

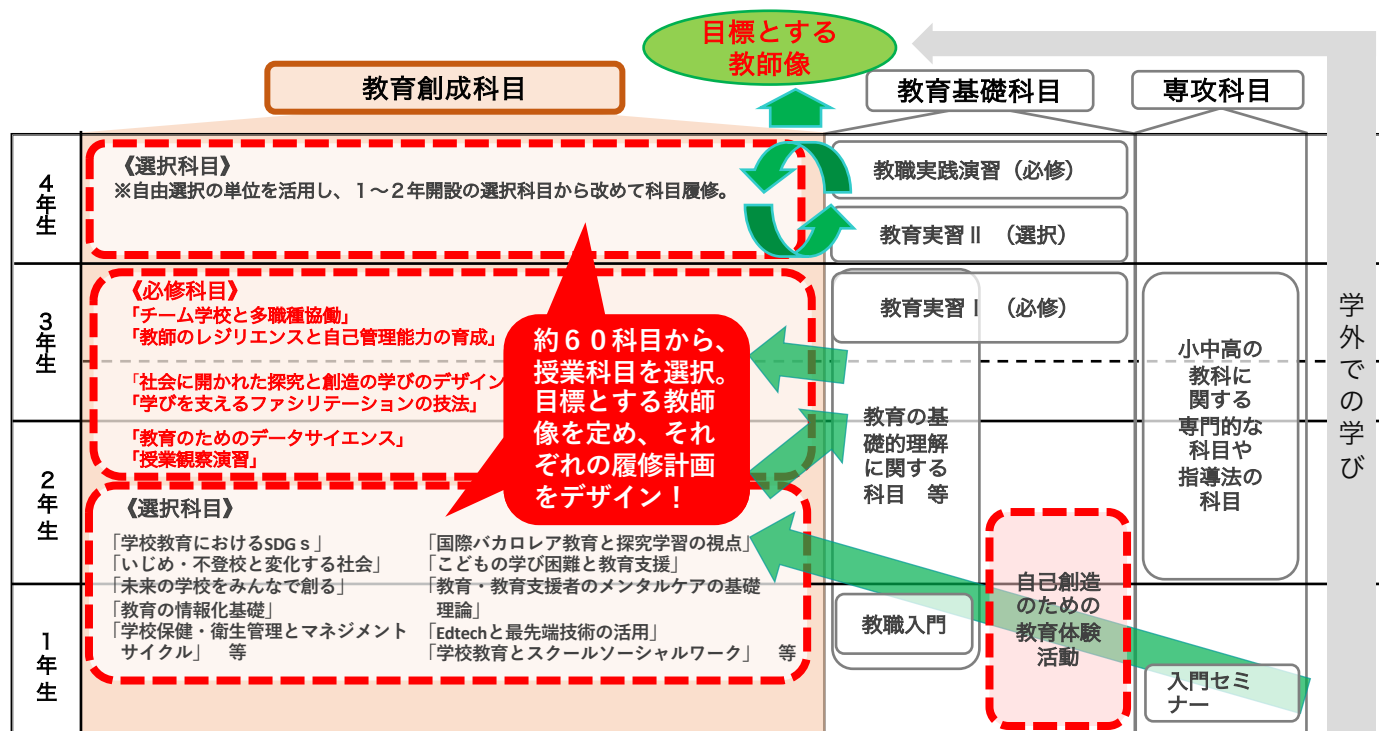
担当 西田尚央・有馬実世・原口るみ

教育創成科目を中心とした 「自律型カリキュラムデザイン」

学校体験を目的とした授業科目「自己創造のための教育体験活動」や関係科目の履修を経て、自らの課題認識を認識し、ひとりひとりが目標とする教師像を設定します。

「自律型カリキュラムデザイン」とは、その目標に向けて、「教育創成科目」を中心に自ら履修計画を立てることのできる「生きた教員養成のプログラム」です。

自分自身のカリキュラムを歩む



教職・教育支援職への意欲を高め、準備する！

【従来】

(1年生)

(2年生)

(3年生)



子どもとコミュニケーションを取る経験が浅く、伝わらないことも。たった1度の失敗経験で教職を諦める学生も。

【R5~】



教育実習
(インターンシップ)



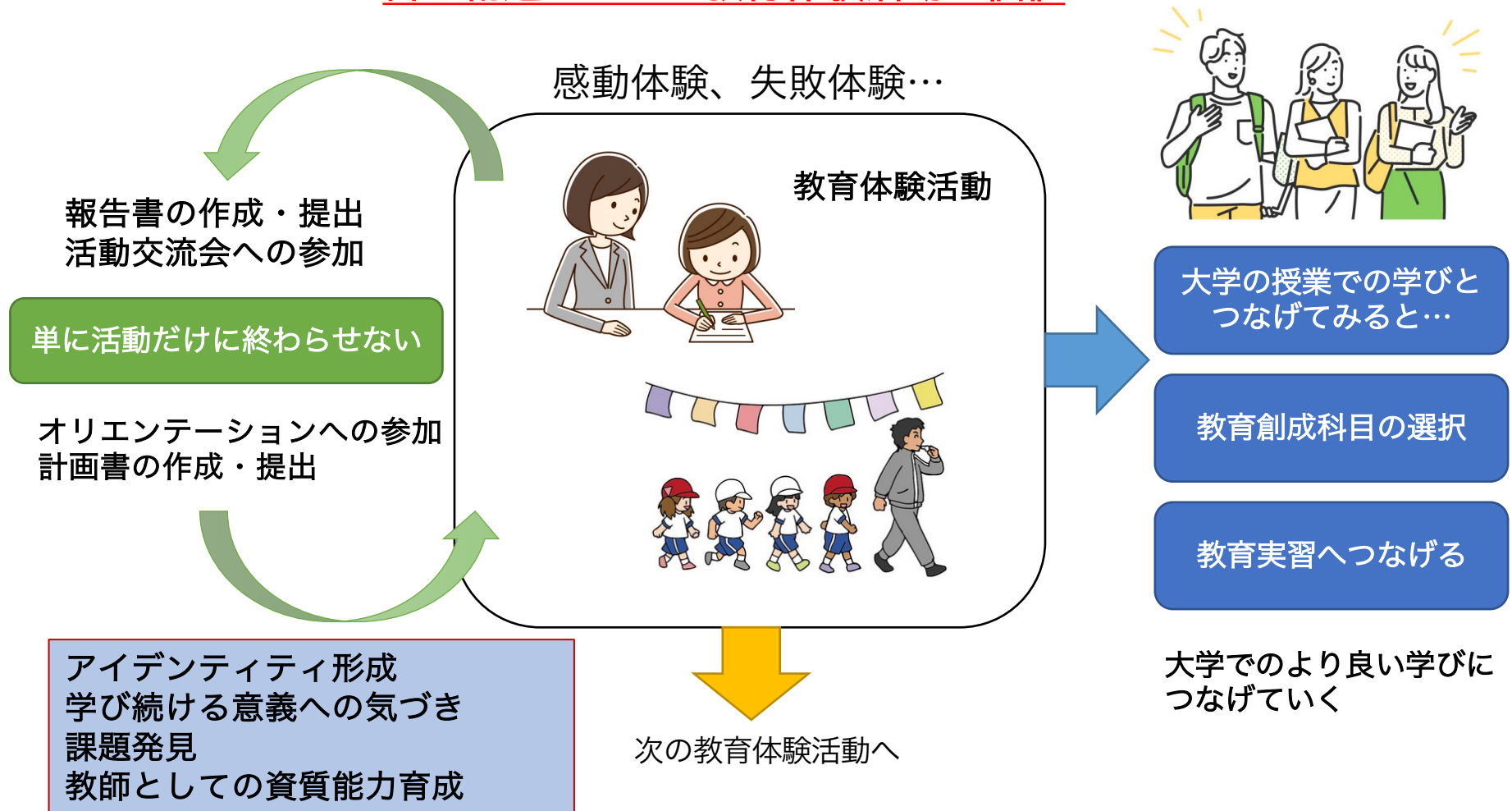
自己創造のための教育体験活動



子どもとのコミュニケーションの経験が教育実習に活きる。教育実習で失敗があっても、教育体験活動での成功経験等により挫折しにくい。

実際に子どもとコミュニケーションを取ることで、教職へのモチベーションアップに。

自己創造のための教育体験活動の価値





卒業生の授業を参観



放課後子ども教室でボランティア

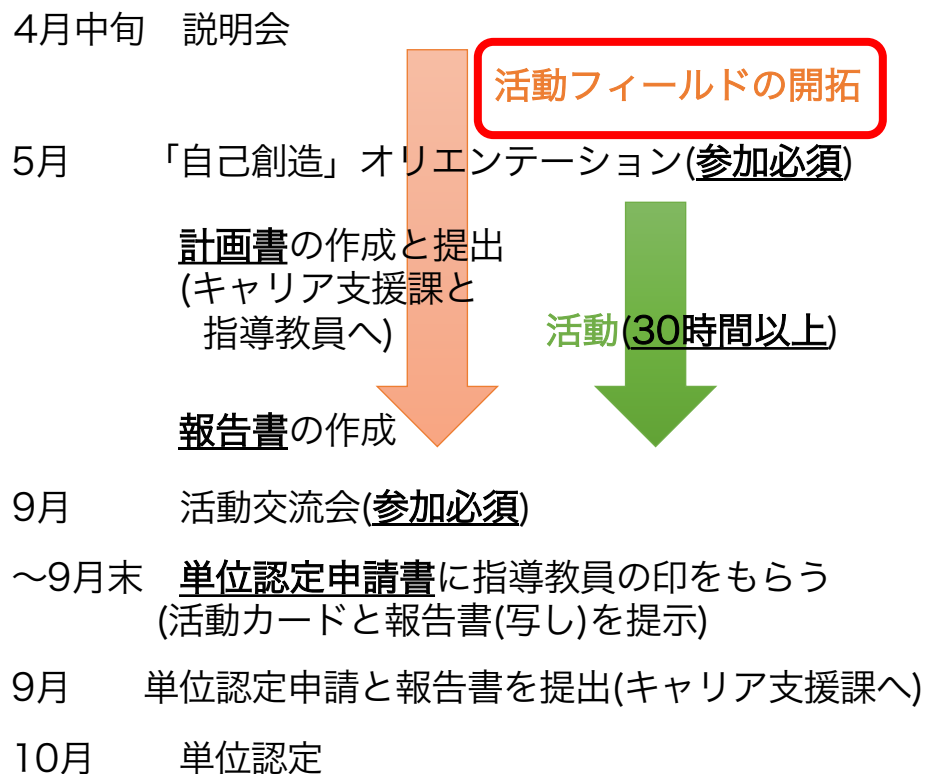


大学の外には、様々な「教育体験」のフィールドがあり、多くの学びの機会が皆さんを待っています。

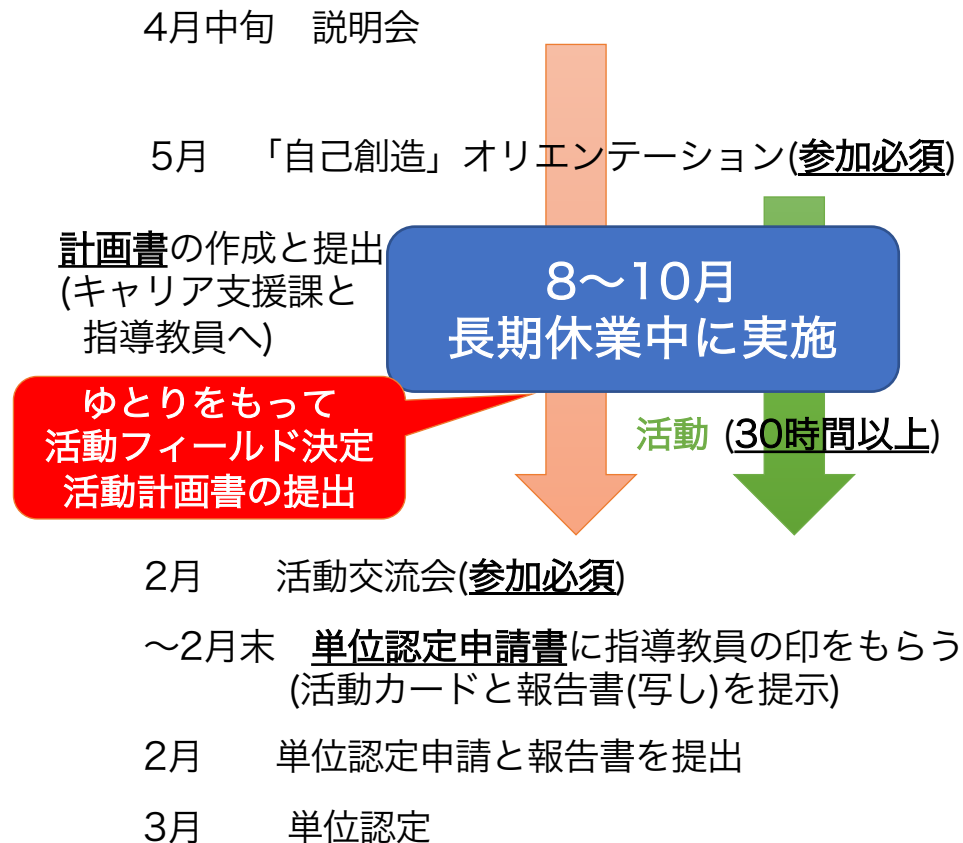
熊本地震の際に学生とともに活動

単位認定の流れ

【例1 春学期】



【例2 年間】



自己創造のための教育体験活動 B 活動カード

顔写真添付
(4×3 cm)

※履歴書で用いる
ような写真

ふりがな			
氏 名			
学籍番号	学年	所属	コース プログラム
		類	

子どもの様子を観察したり、ともに活動したりすること、また教材研究や学習環境の整備などを通して、教育活動の魅力や難しさを体験しよう。

〈受け入れ先の方へ〉

本カードは、学生の教育体験活動を証明するものです。学生が記録した裏面の内容を確認し、相違がなければ押印またはサインをお願いいたします。

〈学生の皆さんへ〉

- 1 服装や言葉遣いなど、成人としてのマナーを守って活動してください。
- 2 活動で知れた情報を口外しないでください (SNS 含む)。
- 3 活動前に、裏面の活動日、活動場所、活動内容、時間を記入してください。
- 4 活動場所に到着したら、担当者に挨拶をしてください。
- 5 活動終了後、担当者に挨拶をして押印またはサインをお願いしてください。
- 6 帰宅後、報告書作成に向けて、活動で学んだことや感じたことを記録してください。

本カードは、教育体験活動に参加する際、必ず携帯してください。また、単位申請の際に指導教員に提示する必要があります。活動が終了しても、単位認定されるまでは紛失しないように保管してください。

活動参加前に記入				活動後に記入
活動日	活動場所	活動内容	時間	押印またはサイン
例) 6/10 (土)	小金井市立 A 中学校	運動部活動補助	会 2.5	
1 5/25 (土)	小金井市立学芸大小学校	土曜参観で授業見学	4	
2 / ()				
3 / ()				
4 / ()				
5 / ()				
6 / ()				
7 / ()				
8 / ()				
9 / ()				
10 / ()				
11 / ()				
12 / ()				
13 / ()				
14 / ()				
15 / ()				
合計				時間

30 時間以上

活動フィールド

学校園以外も可

母校、近隣の学校・園、放課後子ども教室、NPO 法人の活動、家庭教師、塾、など

- ※高校生以下の子どもを対象とした教育体験や授業参観などを広く認める
- ※参加したいが自分で活動フィールドを見つけられない者は、キャリア支援室HP「自己創造のための教育体験活動」のページで紹介
- ※学生に対する交通費や謝金が出ている場合も教育体験活動の時間にカウントできる

手続き確認・情報収集：専用 HP の活用



自己創造のための 教育体験活動



自己創造のための教育体験活動とは？

3年次の教育実習に参加する前の1,2年次に、自らが求めて学校現場等である一定期間体験活動を行うことを通して、教職の意義や魅力を体感したり、その課題に気づいたりすることを目的とした科目です

[詳しくはこちら](#)





活動報告書



活動場所 地域の絵画教室 ～『おばけちょうちん』をつくろう～

活動の流れ

まず、教室の講師からこの工作の試作を見せていただき、制作の工程に関する説明を受けた。この工作には木材の加工が必要である。そのため、のこぎりやハンマーを用いた工作の大変さ、面白さをこどもに体感してもらうことが目的であるという。

私も、実際に『おばけちょうちん』を作ってみた。工具を使い慣れていない子どもの目線に立って、安全な制作方法は何だろうか、子どもがこの作品が完成してよかったと感じてもらうにはどうしたら良いか、これらのことを考えながら試作した。より工作をパワーアップさせるために、糸を用いてちょうちんの口をバカバカと動かすことができる仕組みを考えてみた。



試作の様子

この糸でバカバカ
動くよ！



実際の教室にも参加させていただいた。教室が始まる前に、その設営が必要になる。この絵画教室は場所を借りているため、床や壁が木の粉や絵の具で汚れないようにしなくてはならない。そのため、毎回ブルーシートを敷き、ビニールで壁を保護した。学校の授業運営以上に気を使わなくてはならなかったと思う。

教室は、2時間で8人、小学校1年生から5年生までの子どもが参加した。子ども達には最初に、この工作には工具を使うこと、先生の話をよく聞いてふざけて怪我をすることがないようにすることを話した。初めに、デザインシートを用いてどんなちょうちんを作りたいかを考えてもらった。講師の話によると、このシートは設計図としてではなく、こどもがイメージを広げるためのものとして活用しているという。子どもの考えたアイデアが実際に作れるかどうかは、あまり気にしていないそうだ。

シートで考えたアイデアをもとに、木の板を糸のこで切る。何度ものこぎりを使っていく中で、子どもものこぎりに慣れていく様子だった。和紙を張り付ける作業は、筆で少しずつ張り付けるためにとても根気のいる作業だ。この作業に飽きたり、長い時間をかけたりしてしまう子どももいた。しかしその後の色塗りは、それぞれのアイデアを表現するために熱心に取り組んでいた。

ふりかえり

先輩の活動の様子もわかります!!



体験レポート

自己創造のための教育体験活動に参加した先輩たちのレポートを紹介します

地域の絵画教室での活動

文化系部活動での支援

学童保育での児童との成長

NPO法人での中高生との伴走

小中学校における学習、部活動支援

様々なイベントでの体験と企画運営

動画集

自己創造のための教育体験活動に関する動画です
※大学のアカウントでログインして視聴してください



目的と概要



単位認定の流れ



心構えと緊急時の対応

ふらっと本町小

小金井市立
本町小学校を
ホームスクール
にする学生さんを

募集 しています!

ホームスクールに登録することで

- ✓ 前日、午前中（月曜日にボランティアしたい場合は金曜日の午前中）までにメールで連絡をすれば、翌日、ボランティアに入れます！
- ✓ 本町小からのボランティアの募集の告知を随時メールで受け取れます！
- ✓ 自分がやってみたいことを校長先生に相談できます！
- ✓ 本町小の校長先生や先生方や地域の教育支援者の方とのネットワークをつくれます！
- ✓ 「自己創造のための教育体験活動」のためのボランティアの時間にカウントできます！



登録したらどうなるの？

- ✓ フォームにて登録
- ✓ メールリストに招待される
- ✓ ボランティアをしたい日の前日（月曜日に活動したい場合は金曜日）の午前中までにメールリストで学校に連絡する（※授業がある日は、毎日ボランティアの需要あり）
- ✓ 学校からのボランティア情報（校外学習や調理実習など、特にボランティアが必要な場合の告知）がメールリストで送られてくる
- ✓ 校長先生に自分がやってみたいボランティアをメールリストで相談できる

どうしたら登録できるの？

右記の
Google フォームにて
登録してください。



本町小の校長先生よりのメッセージ！



小金井市立本町小学校では、就職や教育に関わる仕事を志す学生の皆さんの強い力を必要としています。学校生活と一緒に知識・スキルを磨くための仕事・ボランティアをやることで、きっと新しい発見が多く、「成長した自分！」という喜びが感じることでしょう。是非声をかけてくれる範囲のボランティアで大丈夫です。ふらっと笑顔で迎ってもらえるに願っています！

FAQ

各種書類

ボランティア
募集情報

自己創造のための
教育体験活動の詳細は
キャリア支援室ウェブサイトから
CHECK!!



履修には、オリエンテーションへの参加が**必須**です。

いずれか1回
必ず出席！

A 類生： 5/7 (水), 5/28 (水) 4 限

B,C,D,E 類生： 5/21 (水), 6/11 (水) 4 限

場所： 5/7 のみ C401, その他は W110

PC やタブレットを
持参するといいいよ

出席以降の活動が対象

GWに帰省する人は、母校で夏休みに補習や部活動指導、水泳指導などで体験活動をさせてもらえないか、入学の報告とともに聞いてみてください。

自宅から通っている人は、土日に母校の行事などに参加できないか、大学授業の合間に学習補助ができないか、問い合わせてみてください。

もちろん、教育体験活動のフィールドは学校園だけではありません。高校生以下の子どもを対象とした活動を広く認めていますので、「この活動でもいいかな?」という疑問点は、授業担当者（西田）やキャリア支援課に気軽に質問してください。

令和7年度

ボランティア・学校インターンシップ説明会

ボランティア活動 学校インターンシップ に参加しよう！！

日時 令和7年4月16日(水)

場所 S203教室 14:45～16:25

【ボランティアについて知りたい方】

対象 学年不問

講師：東京学芸大学 鉄矢悦朗 教授
小平市教育支援ボランティア担当職員
(福) 国分寺市社会福祉協議会ボランティアセンター長
ボランティア体験談 東京学芸大学学生

どんなボランティアがあるのか具体的に紹介していただきます。
ボランティア活動は教育現場等で実際に学ぶことのできる貴重な機会です。
また学部1・2年生の自由選択科目「自己創造のための教育体験活動」にも
活かされます。

当日は
学生証とパソコン
をお持ちください

【学校インターンシップについて知りたい方】

対象 学部4年生

学部科目「学校インターンシップ」に参加する方法をお伝えします。
履修のためにはこの説明会の出席が必ず必要です。
企業・官公庁インターンシップを希望する者は、4月23日14時45分～
「西4号館110教室」で開催される「企業・官公庁等インターンシップ
ガイダンス」へ参加してください。



キャリア支援

東京学芸大学 キャリア支援課 キャリア支援係
(中央2号館(南講義棟)2階) shushoku@u-gakugei.ac.jp

ふらつと本町小



小金井市立
本町小学校を

ホームスクール

にする学生さんを



募集

しています！



ホームスクールに登録することで

- ✓ 前日、午前中（月曜日にボランティアしたい場合は金曜日の午前中）までにメールで連絡をすれば、翌日、ボランティアに入れます！
- ✓ 本町小からのボランティアの募集の告知を随時メールで受け取れます！
- ✓ 自分がやってみたいことを校長先生に相談できます！
- ✓ 本町小の校長先生や先生方や地域の教育支援者の方とのネットワークをつくれます！
- ✓ 「自己創造のための教育体験活動」のためのボランティアの時間にカウントできます！



登録したらどうなるの？

- ✓ フォームにて登録
- ✓ メーリングリストに招待される
- ✓ ボランティアをしたい日の前日（月曜日に活動したい場合は金曜日）の午前中までにメーリングリストで学校に連絡する（※授業がある日は、毎日ボランティアの需要あり）
- ✓ 学校からのボランティア情報（校外学習や調理実習など、特にボランティアが必要な場合の告知）がメーリングリストで送られてくる
- ✓ 校長先生に自分がやってみたいボランティアをメーリングリストで相談できる

どうしたら登録できるの？

右記の
Google フォームにて
登録をしてください。



本町小の校長先生よりのメッセージ！



小金井市立本町小学校では、教職や教育に関わる仕事を志す学生の皆さんの若い力を必要としています。子供たちと一緒に活動し、楽しく働く先生方の仕事っぷりをすぐ近くで見ることが、きっと新しい発見が多く、「先生になりたい!!」という想いが強くなることでしょう。無理をせず、できる範囲のボランティアで大丈夫です。ふらつと気軽に寄ってもらえると嬉しいです!!